

第9回 PEACE & GREEN BOAT 2016

水先案内人



荒井かおり／ARAI Kaori

【歌手・タレント】

大阪出身。10代の頃からものまねタレントとして大阪・東京のTV・ラジオ等で活動。アナウンサーの父、バスガイドの母と言う”しゃべり家系”に育ち、福岡ではクロスFMのラインアナウンサーを経てフリーとして活動する。現在ファンキークルー代表としてイベントプロデュースの他、ものまねシンガーとして、「みんなの笑顔に会いたい」をテーマに活動を続ける。その他ダンスや料理を趣味にし、ホームヘルパー2級・カラオケ講師の資格を持つマルチなアーティスト。



今井紀明／IMAI Noriaki

【認定NPO法人D×P（ディーピー）理事長】

1985年生まれ。高校生のとき、イラクの子どもたちのために医療支援NGOを設立。当時、紛争地域だったイラクへ渡航。現地の武装勢力に人質として拘束され、帰国後「自己責任」の言葉のもと、日本社会からバッシングを受ける。結果、対人恐怖症になるも、大学進学後友人らに支えられ復帰。通信制高校の高校生向けのキャリア教育事業を関西で展開し、「ひとりひとりの若者が自分の未来に希望を持てる社会」を目指して行動している。



奥田愛基／OKUDA Aki

【SEALDs 創立メンバー・一般社団法人 ReDEMOS 代表理事】

1992年福岡県北九州市生まれ。大学時代に「SASPL（特定秘密保護法に反対する学生有志の会）」を結成。2015年には「SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）」を立ち上げ、毎週金曜日、国会議事堂前で大規模な市民デモを主宰し、大きな注目を集める。現在、大学院修士課程に在籍。2016年6月、初めての単著『変える』（河出書房新社）を出版した。



香山リカ／KAYAMA Rika

【精神科医】

1960年生まれ。東京医科大学卒。学生時代より雑誌等に寄稿。その後も臨床経験を生かして、各メディアで社会批評、文化批評、書評など幅広く活躍し、現代人の“心の病”について洞察を続けている。専門は精神病理学。現在、精神科医・立教大学現代心理学部映像身体学科教授。著書に、『50オトコはなぜ劣化したのか』（小学館）、『リベラルですが、何か？』（イーストプレス）、『半知性主義でいこう』（朝日新書）、『ヒューマンライツ：人権をめぐる旅へ』（ころから）、『がちナショナリズム』（筑摩書房）など多数ある。



金朋央 キム・ブンアン／KIM Boongang

【NPO 法人コリア NGO センター・東京事務局長】

1974年富山県生まれ。在日コリアン三世。在日コリアンの学生団体、青年団体を通じて、約20年間在日コリアンの若い世代の教育活動に携わる。現在、NPO 法人コリア NGO センター・東京事務局長。在日外国人の人権保障や多民族多文化共生社会の実現、戦後補償問題、日韓市民・社会団体間の交流促進などを目的とする活動を行なっている。



木村朗／KIMURA Akira

【鹿児島大学教授】

1954年8月生まれ。北九州市小倉出身。鹿児島大学法文学部教授。日本平和学会理事、国際アジア共同体学会常務理事。主な著作は、単著『危機の時代の平和学』（法律文化社）、共著『核の戦後史』（創元社）、『広島・長崎への原爆投下再考』『終わらないく占領』(法律文化社)、『21世紀のグローバル・ファシズム』（耕文社）、『沖縄自立と東アジア共同体』（花伝社）、『誰がこの世界を動かしているのか』（詩想社新書）ほか。



沢知恵／SAWA Tomoe

【歌手、コモエスタ代表】

1971年生まれ。日本、韓国、アメリカで育つ。3歳よりピアノを弾く。東京藝術大学在学中に歌手デビュー。現在までに『こころ』など27枚のアルバムを発表。98年、韓国における日本の大衆文化開放後、初めて公式に日本語でうたい、第40回日本レコード大賞アジア音楽賞受賞。圧倒的迫力のピアノ弾き語りパフォーマンスで、世代を越えたファンに支持されている。ハンセン病療養所や少年院などでも活動。共著『世界がステージ！』ほか著書・訳書多数。



辛淑玉／SHIN Sugok

【人材育成コンサルタント、のりこえねっと共同代表】

在日三世、東京生まれ、韓国籍。人材育成コンサルタント。2013年ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク「のりこえねっと」を立ち上げ共同代表に就任。2003年多田謡子反権力人権賞、2013年エイボン女性年度賞受賞。著書『怒りの方法』『悪あがきのすすめ』（岩波新書）、『差別と日本人』（角川 one テーマ21）、『その一言が言えない、このニッポン』（七つ森書館）、『せっちゃんのごちそう』（日本放送出版協会）、香山リカ共著『いじめるな！』（角川 one テーマ21）など多数。連載：「わたしのアングル」（ちいさいなかま）「山椒のひとつぶ」（月刊マスコミ市民）「たんこぶ」（週刊新社会）



平竜徒／TAIRA Ryuto

【ギタリスト】

福岡を中心に活動するギタリスト。1930年代、ジプシー(ロマ)の伝統音楽とスウィング・ジャズを融合させて成立した”ジプシー・スウィング”をはじめ、ジャズやボサノヴァなど幅広く演奏を行う。ライブハウス・ホテル・バー・レストラン・フェスティバル・海外リゾート地などで活躍中。日本でなかなか聴くことのできない”ジプシー・スウィング”特有のテクニカルな演奏をお楽しみに。



寺田ともか／TERADA Tomoka

【SEALDs 関西メンバー】

1993年大阪生まれ。関西学院大学人間福祉学部在籍中に、大阪のあいりん地区でホームレス支援に携わる傍ら、SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)に参加し、安保法制に反対するデモやイベントを行う。現在、福祉の専門学校に通いながら、社会福祉士の資格をとるために勉強している。



中西悦子／NAKANISHI Etsuko

【パタゴニア日本支社社会&環境部門 環境プログラムコーディネーター】

2002年パタゴニア日本支社渋谷ストア入社。2007年より環境部門で環境助成金、非資金的支援を通じた環境団体の支援、環境キャンペーン、社内アクティビズム等を担当。2年に一度、環境団体へマーケティングスキルを提供する宿泊型ワークショップ『草の根活動家のためのツール会議』を企画運営。パタゴニアとの出会いのきっかけでもあるスキーを楽しみ、ボランティアでは、北海道に生息するシマフクロウの研究者とともに保護活動に参加している。

中村隆市／NAKAMURA Ryuichi

【(株)ウインドファーム代表、(有)ゆっくり堂代表、東北あしたの森代表、NGOナマケモノ倶楽部世話人】

福岡に生まれ19歳で水俣病と出会い、公害問題や環境問題に関心を持ち始め、有機農業・環境運動に取り組む。チェルノブイリ原発事故による放射能汚染食品の問題をきっかけに1987年より中南米の有機コーヒーやアジアの有機紅茶などをフェアトレード事業をスタート。有機農業とフェアトレードの普及が賛えられブラジル・マッシャード市の名誉市民賞を得る。1990年からチェルノブイリ医療支援に関わる。福島原発事故後、放射能から子どもを守る活動に従事し、2015年「放射能から子どもを守る企業と市民のネットワーク(ほうきネット)」を設立。





西谷修／NISHITANI Osamu

【立教大学教授】

1950年、愛知県北設楽郡生まれ。東大法学部卒業後、都立大仏文修士修了、パリ第八大学留学。明治学院大学文学部教授、東京外国語大学大学院総合国際学研究科教授を経て、現在、立教大学文学研究科特任教授。フランス現代思想の研究をベースに戦争、死、宗教、世界史、医療など、広く現代の問題を論じる。「立憲デモクラシーの会」呼びかけ人。著書著に『不死のワンダーランド』（青土社）、『戦争論』（講談社学術文庫）、『理性の探求』（岩波書店）など多数。バタイユ、ルジャンドル等フランス思想の翻訳も多い。



村上木綿子／MURAKAMI Yuko

【歌手】

大阪出身。地元大阪にてバンドを組み、ライブなどで活動したのち、東京へ上京。アン・ルイス w/PINX のメンバーとして、六本木心中・ああ無情・woman など、大ヒットを飛ばした時代のバックコーラスとして数多くのイベントや番組に出演。忌野清志郎イベントや The MODS Juke Joint 武道館ライブにもコーラスとして参加経験がある。現在は、サザンオールスターズコピーバンド、KAWAMURA BAND のメンバーとして活躍中。グッズ製作・衣装リメイクも手がける。韓国ドラマ鑑賞を趣味としている。



宮台真司／MIYADAI Shinji

【社会学者、首都大学東京教授】

大学院在学中からサブカルライターとして活躍し、90年代に入るとメディアにもたびたび登場、行動する論客として脚光を浴びた。その後は国内の新聞雑誌やテレビに接触せず、インターネット動画番組「マル激トーク・オン・デマンド」や個人ブログ「ミヤダイ・ドットコム」など自らの媒体を通じて社会に発信を続ける。著書に『14歳からの社会学』（筑摩書房）、『社会という荒野を生きる。』（KKベストセラーズ）、『これが沖縄の生きる道』（亜紀書房）など多数ある。



イ・ハンチョル／LEE Hanchoul

【歌手】

韓国を代表するシンガーソングライターのイ・ハンチョルは「大丈夫、上手いくさ」というサビで有名な曲〈スーパースター〉で2007年韓国大衆音楽賞今年の歌と、最優秀ポップシングルの2冠王となった。希望を歌う愉快的なスーパースターイ・ハンチョルは2016年ピース&グリーンボートで参加者と共に楽しい思い出を作っていく。



イ・グァンホ／LEE Kwangho

【延世大学校哲学科名誉教授】

延世外学校哲学科名誉教授であり、韓国東洋哲学会会長を歴任。中国・浙江大学の韓国研究所招聘教授としての在職し、李滉（イ・ファン）に造詣が深い。



イ・ジェソク／YI Jeseok

【イ・ジェソク広告研究所代表】

The One Show, Clio Awards, New York Festivals など国際的に有数の広告コンテストを席卷し、世界でも有名な広告代理店を経てニューヨーク広告界で活躍してきたが、より公益的かつ芸術的なものを集中的に作成するため韓国に戻り匠の精神が込められた「イ・ジェソク広告研究所」を立ち上げた。この研究所では全体の9割以上が非営利性、公益広告キャンペーンが占められ、大手企業のための商業宣伝より非営利 NGO や政府及び国家機関とともに環境、飢餓、自殺、麻薬、暴力問題などのような人類が直面している超国家的な問題に対する啓発的な公益広告キャンペーンを国内外で活発に繰り返し広げている。ホームページ：www.jeski.org



イ・ソンジョン／LEE Seonjung

【ウンドク文化院・前院長】

園仏教文化部長、鐘路教堂教頭、特別教区長など要職を経て、2007年に女性として初めて園仏教・ソウル教区長を務めた。これまで参与連帯共同代表、韓国女性団体連合後援会長、環境財団理事など市民社会団体活動にも先頭に立ってきた方でもある。



イ・ソンフン／LEE Seonghoon

【韓国人権財団常任理事】

Pax Romana、Forum Asia 事務総長を歴任し、国家人権委員会政策教育局長を経た。キョンヒ大学校公共政策大学院兼任教授として在職中。現在、韓国人権財団常任理事。



イ・ヒョジュ／LEE Hyojae

【韓服デザイナー】

株式会社「ヒョジュ」の代表で、韓国を代表する風呂敷アーティスト。女性なら夢見るヒョジュの美しい生活の秘密という自信満々な副題で『ヒョジュのように生きよう』という本を出版した。現在、韓国放送局で91年から続いている「ふるさと紹介プログラム」でレギュラーゲストで出演している。



イ・ブヨン／LEE Buyoung

【日韓協定再交渉国民行動東北アジア平和連帯 常任代表理事長】
新しい政治民主連合常任顧問を経て、東アジア平和国際会議組織委員長を
歴任。現在、日韓協定再交渉国民行動常任代表。



ウ・スンミン／WOO Seungmin

【歌手】

1996年からインディペンデント・ロック (Independent rock) 歌手として
活動し、MBC エンタメ番組「ファングムオチャン (黄金漁場) ームルッパ
クドサ (神様)」のパネラとして出演したことで大衆の人気を集めた。慶
尚道方言を武器に正直な物言いで幅広い世代から支持を得ている。



ウン・ヒギョン／EUN Heekyung

【作家】

1995年東亜日報新春文芸に小説『デュエット』が当選してデビュー。『他
人に話しかける』、『妻の箱』などの作品でドンソ文学賞、李箱文学賞等
を受賞し、その文学性を認められた。彼女の作品はつまらない日常をユー
モアや描写を通して生々しく表現することによって人生の真実を見せよう
とした。現在、韓国文化芸術委員会の文学委員会委員を務めている。



オ・キョンジン／OH Kyungjin

【韓国女性団体連合活動家】

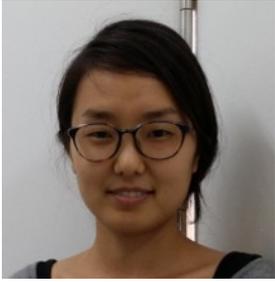
1984年生まれ。女性・マイノリティ、社会的弱者が平和で安全に生きてい
ける社会作りに関心をもつ市民活動家。



キム・ウイル／KIM Wooil

【写真作家】

広告写真作家として活動し、国内で島を一番上手く表現する写真作家とし
て有名である。2014年には国務総理賞を受賞。現在、韓国広告写真作家協
会の諮問委員をしながら、ソクスタジオ代表を務めている。



キム・ウンギョン／KIM Eunkyung

【ワイヤーアーティスト】

用途を達して捨てられたワイヤーを集め、小鳥やお花、樹木などに蘇らせるワイヤーアーティスト。世界各地を巡りながら作品やワークショップを通じて環境運動家レイチェル・カーソンとその遺志を伝えている。2013年3月、韓国大学路のあるギャラリーで「レイチェル・カーソンに宛てる手紙」というタイトルで初の個人展を開いた以降、生物種の多様性、共存、均衡の価値を顧みる様々なオブジェを作り上げている。



キム・ウンソン／KIM Unseong

【彫刻家】

社会的問題に関心を持って活動しており、2011年には妻のキム・ソギョン作家と一緒に「平和の少女」像を作った。この像は日本軍の「慰安婦」問題を解決するための水曜集会から始まった市民の募金で制作され、日韓政府が「慰安婦」問題にさらに真剣で積極的に取り組んで欲しいとの気持ちがかもっている。



キム・ブギョン／KIM Bookyoung

【ヴーズ代表】

キャラクターデザイナー。「プカ(Pucca)」で馴染みの(株)ヴーズの代表取締役。「プカ」の他多くのキャラクターの企画と開発を担当し、文化コンテンツ海外進出輸出有功部門で大統領賞を受賞し、国際フラッシュアニメ映画祭でグランプリを受賞するなど、韓国内外で有数の賞を受賞している。現在は著作権委員会の広報大使、仁川チャイナタウンの広報大使、ソウル・ブランド推進委員会の委員などで活動している。



キム・ボンジュン／KIM Bongjun

【彫刻家】

民衆美術を代表する画家であり彫刻家として統一と平和への願いを込めた版画や彫刻品などを作っている。現在は古い未来神話美術館長、(社)古い未来文化研究会理事長、(社)東北アジア平和連帯共同代表などを務めている。



キム・ヨンハ／KIM Yonugha

【作家】

韓国の小説家。新世代の都会的な感受性を冷静な視線と乾燥した感性で描くとの評を聞いている。『私は私を破壊する権利がある』で第1回ムンハクドンネの新人作家賞を受賞、同書はフランス語でも翻訳された。『あなたの木』で現代文学賞を受賞している。



クワク・ドンホ／KWAK Dongho

【コトトルマジシャン】

コトトルマジシャンのクワク・ドンホはマイムとストーリーのあるマジックが専門のマジシャンとして、人々が忘れていた自身の夢をマジックというファンタジーを通じてもう一度思い出させてくれる。マジシャングループのマジックプレイの代表と、創作集団「ソウル道の上のビニールハウス」の代表を経て、現在はコトトルマジック遊浪団の団長を務めている。



ゴ・チュルファン／KOH Chulhwan

【ソウル大学地球環境科学部名誉教授】

ドイツのキール(Kiel)大学で海洋生態学の理学博士を取得、ソウル大学地球環境科学部の教授を務めた。環境運動連合市民環境研究所の初代所長、民主化のための全国教授協議会の議長、大統領諮問持続可能発展委員会長、東アジア海洋環境協力機構の技術分科議長を歴任した。著書には『海洋生物学』、『韓国の干潟』などがある。



ジュ・ヨンウク／JU Youngwook

【ベストラベル代表】

フードコラムニストとして活動。中央日報の日曜版「中央 Sunday」に「ジュ・ヨンウクの物語のある美味しい店」というコラムを4年前から連載している。自身が選んだ店を紹介する「美味しいヒトメシ（一飯）」を出版。食はもちろん、文化を含め様々な分野をまたいでいる、いわば「ホモルーデンス(homo ludens)」の典型である。自らを「文化ノマド(nomad)」と紹介する。他、旅コラムニスト、写真家、ダイバーそして経営学博士として、マーケティングリサーチ専門家でもある。国内では多国籍企業の最高経営者協会(KCMC)の事務総長を経て、メンソコリア会長も歴任。20年以上多国籍企業のマーケティングリサーチ会社を運営し、現在はスペシャルテーマ旅行を専門とするベストラベルを立ち上げ、それまでの経験を活かしている。



ジョ・ジンマン／JO Jinman

【建築家／チョ・ジンマンアーキテクト代表】

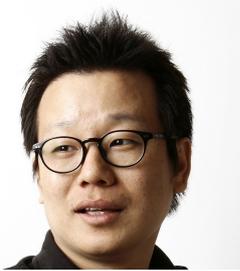
ソウル市公共建築家であり、漢陽大学兼任教授を歴任している。キム・スグンプリビュー建築賞を受賞し、2015 若い建築家賞を受賞した。現在、チョ・ジンマンアーキテクトの代表として活躍している。



ソ・ミョンスク／SEO Myungsuk

【チェジュオルレ理事長】

1989年時事ジャーナル創刊メンバーとして入社。政治部記者、編集長などを歴任した。韓国国内では女性政治部記者第1世代で時事週刊誌史上初の女性編集長。オーマイニュース編集局長を最後に23年間の言論人生活にピリオドを打つ。故郷のチェジュ島（済州島）に帰って2007年9月にチェジュ（済州）オルレを立ち上げ、トレッキングコースを開発した。2007年からはチェジュ（済州）オルレ理事長として活動している。



タクソ／TAKSO

【アートディレクター】

絵を描くことと、アイデアを出すことが好きで、他国的広告会社 DIAMOND OGILVY、BBDO KOREA、ORICOMなどで、長年アートディレクターを務めた。韓国公益広告祭大賞をはじめ、NEW YORK FESTIVALS AWARDS、LONDON INTERNATIONAL AWARDS など、世界優秀広告祭で多数の賞を取り、「世界で一番やさしいアート」というコンセプトで「TYPOART」を作り、様々な分野で講義、展示を進めてきた。また、「地球を救う想像力」という環境プロジェクトを色々な教育、展示、製品化、コラボレーションを行った出版作には『地球を救う想像力』、『HEART』、『TYPOART』、『年を取る絵本』、『愛情洗衣店(中国語版絵本,2004)』などがある。



チェ・ヨル／CHOI Yul

【環境財団代表】

韓国の代表的な環境運動家。1982年韓国最初の市民環境団体の韓国公害問題研究所を立て、環境運動連合事務総長を経て、今は環境財団の代表として環境を守るための活動に励んでいる。1995年ゴールドマン環境賞、2014年はシコ・メンデス賞を受賞し、主要な著書には『生きているすべては美しい』、『チェ・ヨルおじさんの地球温暖化話』などがある。



チョ・ヘミン／JO Hyemin

【梨花女子大学大学院生】

1990年生まれ。梨花女子大学大学院修士課程在学中（女性学専攻）。正義党代議員及び性的マイノリティ委員会、ジェンダー政治研究所で活動している。



チョ・ユミ／CHO Youmi

【パブリシスワン コリア代表】

グローバル広告会社「パブリシスワン」の韓国CEO。韓国20大広告会社の中の唯一の女性CEOで、P&G、SK2、フィリップモリス、マクドナルドなど、国内外の優秀企業のブランド広告を担当してきた。「人が先だ (People First)」という経営哲学で広告業界の人材を育て上げている。



チョン・グァンヨン／CHUNG Kwanyong

【ジャーナリスト】

韓国の代表的な時事評論家で番組司会者。「番組司会の教科書」と呼ばれる。1993年金泳三大統領時代に秘書室行政官を経て、2001年言論社・プレシアン政治編集、理事を歴任した。KBSでは<100分討論>、<開かれた討論>などメイン討論プログラムの司会者として知られ、現在はCBSラジオの<時事ジョッキー、チョン・グァンヨンです>を進行している。



チョン・ジヨン／CHUNG Jiyoung

【映画監督】

1982年初めての長編映画「霧は女のようにささやく」を通して映画監督デビュー。1992年には、ベトナム戦争の後遺症をテーマにした、戦争に対する批判を表現した秀作「白い戦争」を上映し、東京国際映画祭で作品賞と監督賞を受賞。2011年には13年ぶりの演出作である「折れた矢」を発表して青龍映画祭及びベックサン芸術大賞監督賞を受賞。2012年には韓国の民主化運動を扱った「ナムヨンドン 1985」を発表した。韓国人映画人会の理事長も務め、監督だけではなく、映画振興法改正運動、スクリーンクォーター監視団活動を主導した。



チョン・スボク／CHEONG Soobok

【社会学者】

社会学者で作家。1980年代の留学生活7年、2000年代の”自発的亡命生活”10年と2回にかけて17年間パリの空の下で生活した。初めてのパリでは文字の森を歩き、2回目の時はパリの大通りと路地裏を歩きつくした。大学では政治学を、大学院では社会学を専攻したが、ずっと文学、哲学、歴史学など人文学と芸術にも興味を持ち続けた。1982年パリ社会科学高等研究院 Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales に留学し、1988年社会学博士の学位を取得。1989年に帰国し、延世大学などで講義の他、環境運動を中心に色々な市民運動団体に参加している。



ノ・ソヨン／ROH Sohyeong

【アートセンターナビ代表】

アートセンターナビの館長であり、盧泰愚元大統領の長女でもあり。2010年からソウル大学校・融合技術大学院兼任教授、2012年からはソガン大学校・知識融合学部アート&テクノロジー選考招聘教授を歴任。中国 TASML では international board member と次世代融合技術院理事として在任している。



バブルドラゴン／BUBBLE DRAGON

【バブルアーティスト】

韓国第1号のバブルアーティストであるバブルドラゴンは、韓国放送局のSBS「スターキング」という番組で優勝し、その他にもKBSの「スポンジ」、KBS「5千万人のトップシークレット」、EBS「ドキュ人」などに出演した。家族全員を笑顔にさせるバブルドラゴンのマジック&バブルショー。今年もまた、どんなパフォーマンスを披露してくれるのか楽しみである。

ユン・グァンジュン／YOUN Kwangjun

【写真作家】



写真と文書を扱うアーティストの中でも指折りの写真作家である。写真の領域を超え、エッセイストとしても活躍している経歴からもよくわかる。楽しく生きるという信念の下、遊びと仕事を線引きしない作家としても知られている。『出来の良い写真一枚』、『手に入れたいカメラ』など4冊の写真集やオーディオマニアらのバイブルである『音の恍惚（エクスタシー）』、中年の暮らしを顧みるエッセイ『私の人生の友だち』、『マイウェイ』、名品の見方を変えた『生活名品』のような著書がある。ポータルサイトNAVERの「今日の写真」の審査委員を経て、現在サンデーに〈新生活名品〉を連載中。2016年4月、13年ぶりの個人展「逃げられた時間のバラード」を開く。写真作業と執筆のため様々な場所を旅行しつつ、講演会も活発に行っている。



ヨジヨ／YOZOH

【アーティスト】

韓国「弘益大学の女神」というニックネームで知られている韓国のインディーズ音楽を代表するシンガーソングライター。現在、本屋「無事」の代表を歴任している。